



## Amptコミュニケーション・ ユニット

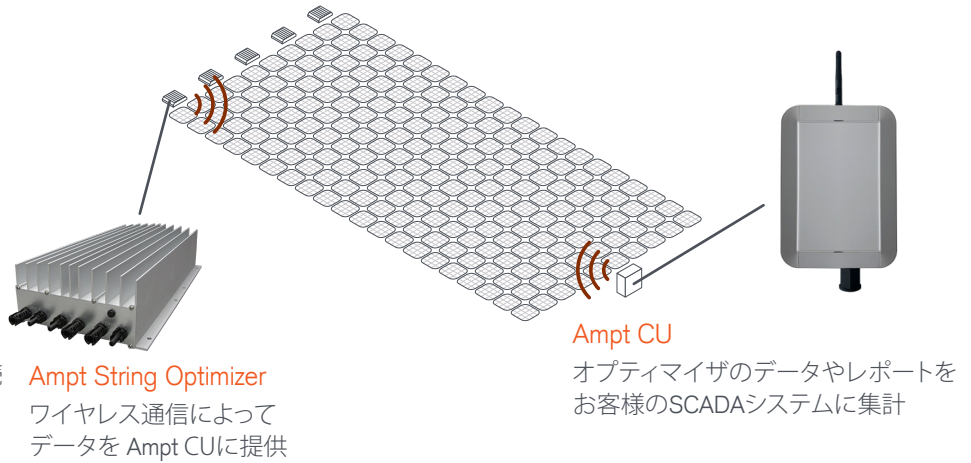
### O&Mの質を高める高精度の同期データ

Amptコミュニケーション・ユニット(CU)は、双方向ワイヤレス通信によってAmpt String OptimizerからString View®データを収集することが可能になります。String Viewデータには、各オプティマイザ入力の太陽電池ストリングの電流と電圧、オプティマイザの出力電流と出力電力が含まれます。Ampt CUはModbus/TCPを使用して、データをお客様のSCADAまたはデータ監視システムで受け取ることができます。これにより、サイト、リモートオペレーションセンター、第3者監視サービスセンターでストリング監視が可能になります。

- 各ストリングの性能を遠隔トラッキング
- システム異常およびその位置を迅速に特定
- 予測性の向上によるリスク低減
- O&Mのコスト削減

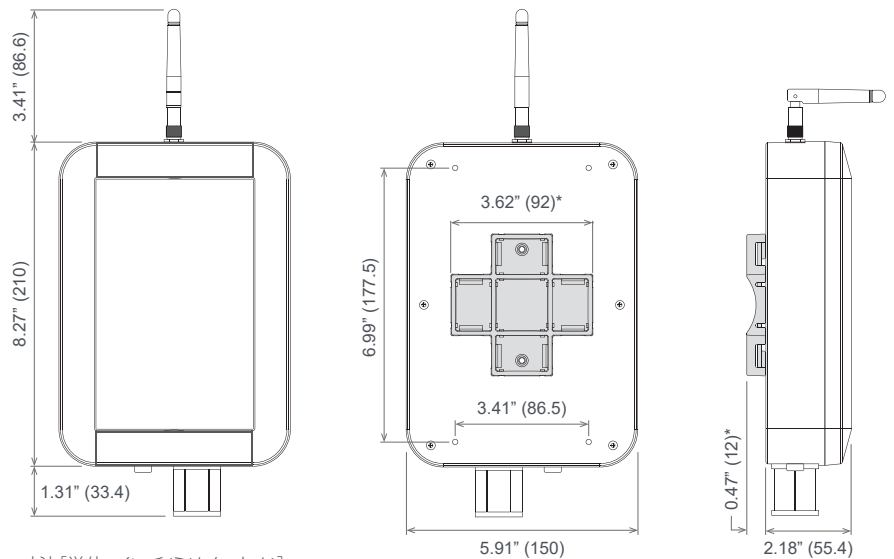
## 利点

- 可視性 — システム出力を遠隔監視、問題発生時に素早く対応可能
- 同期性 — 全てのオプティマイザからの測定値を時系列で整理し、データとイベントの相関性を示します。
- 精度 — 出力の測定値精度は $\pm 0.25\%$
- 互換性 — Modbus経由で第三者SCADAゲートウェイとシームレスにリンク
- 出力の最大化 — 断線/ヒューズの開放、接続部の緩み、汚れ、植生管理、劣化、追尾架台の心ずれなどによる隠れた損失を回避します。



## 特長

- String View — オプティマイザの入力および出力からのストリング毎のデータ提供
- マッピングが簡単 — 現場の電気的レイアウトと物理的レイアウトの両方にデータを対応付け
- コンフィギュレーションが可能 — ユーザーが定義したレベルでストリング・データの集計が可能
- Modbus対応 — SunSpecフォーマットでデータを提供
- 設置ウィザード — Amptオプティマイザのバーコードをスキャンすることで、位置の取得、接続の確認、コミショニング・データの記録を実行
- コミショニング・ツール — データを利用して太陽光発電所内での電気接続のトラブルを素早く解決



データ通信	
Amptオプティマイザとのインターフェース	双方向のワイヤレス通信
MW当りのコミュニケーションユニット数	1~2個
データ監視システムとのインターフェース	Modbus/TCP
データ監視との接続	イーサネット10/100 Base T
測定精度	$\pm 0.25\%$
データ間隔	1分
ローカルデータストレージ	45日分のローリング・バッファ
電気系統	
電源	PoE給電、消費電力 < 4W
PoE給電	クラス0、802.3afモードAとB、802.3atタイプ1 (RJ-45コネクタ)
機械仕様	
重量	1.23lbs. (556g)
寸法(高さ x 長さ x 幅)	12.99in x 5.91in x 2.18in (330mm x 150mm x 55.4mm)
防水防塵性能	IP67
周囲温度動作範囲	- 4 °F ~ + 140 °F (- 20 °C ~ + 60 °C)
一般	
コンプライアンス	FCC/パート15、クラスB; IEC/UL 62368に対するETL認証; CSA C22.2 62368-1